

～木とともに生きる～ 清見里山プロジェクト

地元の木で、暮らしの道具を作りました

「清見里山プロジェクト」は「森と木に関わる人と触れ、地域の山を守る人材をつくる」をスローガンに、昨年春に発足。行政や地域活性化団体・企業の協力を得て、推し進められてきました。

今年度は「森と木と人の共生」をテーマとし、市の支援を受け、昨年10月より清見中1年生の総合的な学習の一環として、森林整備作業、製材所や木工所の見学など、計8回のプログラムが行われました。



7回目は1月18日(水)・19日(木)の2日間、森林文化アカデミーの久津輪雅先生をはじめとする講師の先生5名をお迎えし、地元産の生木を使った木工作業を体験しました。

生徒たちは様々な刃物や「削り馬」という珍しい道具を使い、数種類の木で鍋敷きを作りました。

清見町まち協だより

第96号

令和5年 3月1日

清見町

まちづくり協議会

事務所：きよみ館

TEL77-9516(直通)

わくわくつうしん 豆まきとのり巻き作り



2月2日(木)、福祉センターにて、節分の豆まきとのり巻きづくりを行いました。

古新聞をちぎって丸めて作った「福豆」を、おともだちみんなで悪い鬼にぶつけたら、「アイタタ！」もう降参！鬼は改心して、福の神を連れてきてくれました。

その後は、野菜やツナを入れたのり巻き(恵方巻)をつくり、みんなで美味しく食べました。

高山消防署 清見出張所だより

■ 春の火災予防運動

『お出かけは マスク戸締り 火の用心』

【実施期間】 令和5年3月1日～3月7日

この運動は、火災が発生しやすいシーズンを迎えるにあたり、火災予防思想の一層の普及、火災発生防止、高齢者を中心とする火災による死者の減少などを図ることを目的に、毎年この時期に実施しています。

火災は一瞬にして生命や財産を奪います。空気が乾燥し、火災が発生しやすくなるこの時期、火の取扱いには十分注意し、より一層の防火対策に心掛けましょう。



春の火災
予防運動

■ 山火事予防運動

『火の確認 山を愛する あなたのマナー』

【実施期間】 令和5年3月1日～4月30日

空気が特に乾燥する春先の2か月間、大切な山の資源を火災から守ることを目的に山火事予防運動を実施します。

たき火や火入れなど、火の取扱いには十分注意しましょう。

また、火災警報発令時には屋外でのたき火や山林での火入れ、喫煙は禁止とされますのでご注意ください。火災警報発令時にはサイレン吹鳴や消防車両による広報を実施しますので、ご理解ご協力をお願いします。



高山消防署清見出張所 ☎68-0099 FAX68-0098